



令和2年度 校長だより

令和3年1月8日(金)

大野の風

No.8

文責 松下 義彦

3学期のスタートにあたり

みなさん、おはようございます。そして、あけましておめでとうございます。

いよいよ2021年の新しい年が始まりました。みなさんは、この冬休みをどのように過ごしたでしょうか。3年生のみなさんは、高校受験合格という大きな目標に向かって学習を頑張ったでしょうか。また、2年生や1年生のみなさんは、コロナ禍の中、外出を控え、ゆっくりと家での時間を過ごしたでしょうか。それぞれ思い思いの休みを満喫したことだと思います。

さて、話は変わりますが、プロ野球 福岡ソフトバンクホークスの前身である南海ホークスで選手兼監督として活躍、また複数の球団で監督として活躍された故 野村克也 氏の著書「野村ノート」の中に次のような言葉があります。

心が変われば態度が変わる。

態度が変われば行動が変わる。

行動が変われば習慣が変わる。

習慣が変われば人格が変わる。

人格が変われば運命が変わる。

運命が変われば人生が変わる。



この言葉は、「心の持ち方や気持ちは行動に現れる。その行動を繰り返すことで習慣となり、良い習慣を身につけると自分の性格や人格、将来までも変えることができる」という意味です。逆に言えば、心の持ち方や気持を変えない限り人は変わることができないということです。

例えばマイナス思考の人は何事も悲観的にとらえがちです。だから、言動も、その人の醸し出す雰囲気も暗くなっていきます。心がそうなるやるともうまうまいかないし、体の調子までおかしくなってしまうのです。

逆に、ある人が周囲から見るとそれほど恵まれていなくても「自分は恵まれている、感謝しないといけないなあ」というような考え方に変わったとします。当然、その人は周囲に感謝の意を表し、事あるごとに「ありがとう」と言うようになります。そして、感謝するということは謙虚に周囲の意見に耳を傾けるようになります。それが習慣化されればその人の人間性も常に感謝の心をもつものになります。そのようにして、人格が変わるわけです。そうすると周囲はその人を信頼し、評価するようになるので、その人は益々周囲に感謝して努力します。そして、一層周囲の信頼を集めるわけです。

結局、そのような人格を持つ人は、善いことを思い、善いことをするという好循環が起きるわけです。それはその人の運命にまで影響を与えます。

みなさんも、自分の人生をより良いものにしていきたいと願っているはずですが、運命は決められたもの、すでに決まっているものと思っている人もいるかもしれません。でも、運命は変わるもの、そして自分の力で変えるものです。その為にすべきことが、この言葉の中に凝縮されていると思います。

さて、3年生のみなさんは、いよいよ受験です。泣いても笑ってもあと少しです。悔いが残らないように全力で最後まで頑張ってください。1・2年生みなさんは、学習での試験や部活動の大会などがあります。まずは自分の目標をしっかりと立てて欲しいと思います。

そして、目標を達成するためには、そこにたどり着くまでの道のりをイメージすることが大切です。みなさんも目標達成のイメージを持ち、そこにたどり着くプランニングをしてください。

最後に、3年生はあと40日間しか中学校には登校しません。大切な40日間にしてください。1・2年生は、今の伝統ある大野中学校をさらに発展させるよう努力してほしいと思います。コロナに負けず、常に前向きにチャレンジする生徒たちであって欲しいと思います。